

教育シンポジウム島根

「令和の時代の縁づくり」

～学校・家庭・地域の連携の在り方～



シンポジウム

令和元年 **11月24日** **日** 9:00-12:10

ビッグハート出雲【白のホール】



ビッグハート出雲
アクセスQRコード

〒693-0008 島根県出雲市駅南町1丁目5



パネリスト
永堀 宏美 氏

(元茨城県牛久市
教育委員長)



パネリスト
土江 博昭 氏

(元島根県雲南市教育長)



パネリスト
関根 真一 氏

(苦情・クレーム
対応アドバイザー)



コーディネーター
明石 要一 氏

(日本教育文化研究所所長)

レセプション

11月23日 **土** 18:00-20:00

出雲ロイヤルホテルロイヤルパレス
【平安の間】



出雲ロイヤルホテル
アクセスQRコード

〒693-0004 島根県出雲市渡橋町831

主催：日本教育文化研究所

主管：島根県教育文化研究所



教育シンポジウム島根の開催趣旨

社会の急激な変化や価値観の多様化により、学校に対する保護者や地域住民からの意見や要望も多岐に亘ってきた。その中には、学校にとって有意義な指摘があると同時に、理解を得ることができない理不尽とも言えるべき要望を突きつけられることもあり、それは社会的な問題にもなっている。中でも若年教員は、保護者からの解決困難な批判や要求への対応に苦慮している場合が多く、そのような保護者への対応に疲弊し、休職に追い込まれる教員は年間約5,000人と高止まりの現状にある。

本来、学校と家庭、地域は、子供たちの成長をともに支える存在である。従って3者が同じ方向を向きながら進むためにも、今学校と家庭や地域との関係を改めて見つめ直す必要がある。核家族化、少子化、一人親家庭の増加、地域の教育力弱体化等、子供を取り巻く家庭・地域環境が大きく変化している中で、学校は家庭や地域への向き合い方を時代に合ったものへ刷新していかなければならない。

そこで本シンポジウムでは、Society5.0の到来を見据え、次代を切り拓く子供を育成するために、様々な立場の有識者から意見をいただきながら新しい時代「令和」における学校、家庭、地域のこれからの連携の在り方について新たな知見を得る機会としたい。

後援団体(順不同)

文部科学省・島根県教育委員会・出雲市教育委員会

お問い合わせ先

日本教育文化研究所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3丁目7番地 半蔵門村山ビル
TEL: 03-3262-1859 FAX: 03-3264-3829 E-mail: kyoubun@ntfj.net

島根県教育文化研究所 〒693-0011 島根県出雲市大津2214出雲市立第一中学校内
TEL: 0853-22-7762 FAX: 0853-22-7762 E-mail: office@kyougikai.org